

大阪市立大正東中学校 PTA規約

第一章 名称

第一条 この会は、大正東中学校PTAという。事務所は大正東中学校に置く。

第二章 目的

第二条 この会は、保護者と教職員とが協力して、家庭と学校と社会における、生徒の幸福な成長をはかることを目的とする。

第三章

第三条 この会は、前条の目的をとげるために、次の活動をする。
一、教育水準を高めるために、会員の成人教育を盛んにする。
二、家庭と学校との緊密な連絡によって、生徒を保護・善導する。
三、家庭と学校と社会における、教育的環境をよくする。

第三章 方針

第四条 この会は、教育を本旨とする民主団体として次の方針に従って活動する。
一、生徒の教育ならびに福祉のために活動する他の団体および機関と協力する。
二、特定の政党や宗教にかたよることなく、また営利を目的とするような行為は行わない。
三、この会、またはこの会の役員の名で、公私の選挙の候補者を推薦しない。
四、この会は自主独立のものであって、他の団体から支配・統制・または干渉を受けない。
五、学校の教育方針、および人事、ならびに管理には干渉しない。

第四章 会員

第五条 この会の会員は、次のとおりである。
一、この学校に在籍する生徒の保護者、またはこれに代る者（以下「保護者」という。）
二、この学校の校長、および教職員。
三、この学校の主旨に賛同するもので、実行委員会承認を得たもの。
第六条 この会の会員は、すべての会費を納める義務を有する。

第五章 経理

第七条 この会の経理は、会費・事業収入、および自発的な寄付金によって支弁される。
第八条 会費の額及び資金獲得の方法を決定する場合、会員又は外部の者に寄付を求める場合等の重要事項については総会において決定しなければならない。
第九条 この会の、資産はすべて第二章にあげた以外の目的のために支出、または使用してはならない。

第六章

第十条 この会の会費は、月額五〇〇円とする。
第十一条 この会の経費は、会計監査を経て、会員に報告されなければならない。
第十二条 この会の会計年度は、毎年四月一日から始まり、翌年の三月三十一日に終る。
第十三条 この会の経理については、別に会計規定を定めることができる。

第六章 役員とその選挙

第十四条 この会の役員は、次のとおりである。

会長 一名 保護者
副会長 二名以上 保護者
書記 十名以上 教職員、または保護者
会計 十名以上 保護者

主、役員は、男女のいずれか一方に偏してはならない。

第十五条 一、役員は、他の役員、または会計監査委員を兼ねることができない。
二、役員の任期は、一年とする。ただし、同じ役員の職については、一回に限り再任

第一六条

一、役員は、引き続き、他の役員に選任されるることができる。ただし、役員の職にあることが連続した場合、通算して二年を超えてはならない。
二、各役員（書記を除く）および会計監査委員長は、各地区（地区とは、大正東中学校の四小学校校区を示す、以下『地区』という。）一年毎の持ち回り制とする。

役員
の選挙および就任は、次のとおり行われる。
一、六名の委員からなる役員候補者指名委員会（以下「指名委員会」という。）を次の方法によって作る。

1 指名委員長は役員から選出する。
2 指名委員は各地区の保護者の中から四名を選出する。ただし、五名以上の推薦者が必要とする。

3 選出者が複数の場合は互選する。
先生教職員の中から互選により、男女各十名二名の指名委員を選出する。

二、指名委員は、役員候補者になることができる。
三、指名委員会は、各役員別に、定数以上の候補者をあげ、役員選挙の少なくとも十日前までに全会員に知らせる。

四、選挙を行う総会において、一般会員から、候補者の指名をなすことができる。
五、候補者の指名は、指名委員会によってなされる場合も、一般会員からなされる場合も、その名前を発表する前に、候補者の同意を得なければならない。

六、役員は、総会において、出席した会員の無記名投票により、多数決で選挙される。
七、役員は、五月一日より就任する。

会長に欠員が生じたときは、副会長が昇格する。任期は前任者の残留期間とする。
会長以外の役員に欠員を生じたときは、実行委員会がこれを補充する。任期は前任者の残任期間とする。

第一七条
第一八条

第七章 役員の資格とその任務

第十九条 この会の目的、ならびに方針について、十分な理解をもっている会員で、公選による公職者でない者は、第六章の規定に従って役員に選挙されることができる。
第二十条 会長は、次の職務を行う。
一、総会、および実行委員会を招集し、会議の議長となる。
二、他の役員、および校長の意見を聞いて、常置委員会、および特別委員会（役員候補者指名委員会を除く）の委員長を任命する。

三、実行委員会の承認を得て、常置委員会、および特別委員会（特別委員会（役員候補者指名委員会を除く）の委員を任命する。各委員会役員候補者指名委員会、および会計監査委員会を除く）に出席して意見を述べるができる。
四、この会の資産を管理する。

五、この会の会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代行する。
六、書記は次の職務を行う。
一、総会、および実行委員会の議事、ならびにこの会の活動に関する重要事項を記録する。

二、記録・通信、その他の書類を保管する。
三、会長の指示に従って、この会の庶務を行う。
四、会計は、次の職務を行う。
一、総会が決定した予算に基いて、いっさい

第二十一条

第二十二条

第二十三条

の会計事務を処理する。
二、予算の立案に協力する。
三、会計簿を保管し、いつでも全員の閲覧に供する。

四、会計監査をうけて、会員に報告する。

第八章

会計監査委員会

第二十四条

一、この会の経理を監督するために、会計監査委員会を置くことができる。

二、会計監査委員会には、委員長の外、二名の委員を置く。

第二十五条

一、会計監査委員長の選挙および就任は、第一六条に準じて行う。

二、会計監査委員長は、他の二名の委員を選任することができる。

第二十六条

会計監査委員会は、その年度の会計を監査し、年間土曜一回以上全会員にその結果を報告

する。

第二十七条

会計監査委員の任期は、一年とする。

第二十八条

会計監査委員長は、実行委員会に出席して、意見を述べることができる。

第九章

総会

第二十九条

総会は、全会員をもつて構成され、この会の最高議決機関である。

第三十条

総会の定足数は、全会員の五分の一とする。決議は出席者の過半数の同意を要する。

第三十一条

実行委員会が必要と認めたとき、また会員の五分の一以上要求があったときには、会長はいつでも総会を招集することができる。

総会は、年間土曜一回以上開催する。

第三十二条

この会の年間事業計画、および予算の審議決定、ならびに決算報告の承認は総会で行う。

第三十三条

実行委員会は、この会の役員・各常置委員

第十章

実行委員会

第三十四条

実行委員会は、この会の役員・各常置委員

第三十五条

実行委員会の任務は、次のとおりである。

一、会長によって任命される各委員会の委員を承認する。

二、各委員会によつて立案された事業計画を審議検討する。

三、総会に提出する議案を調整する。

四、必要あるときは、特別委員会を設ける。

五、その他、規約ならびに総会の決議に従つて、この会の事務を処理する。

第三十六条

一、実行委員会は、原則、毎月一回定例会を開催する。

二、実行委員会の定足数は、委員数の二分の一とし、決議は出席者の過半数の同意を要する。

第十一章

常置委員会、および特別委員会

第三十七条

この会の活動に必要な事項について、調査・研究・立案するために、次の常任常置委員会を置く。

一、学年委員会

二、成人教育委員会

三、広報委員会

四、厚生保健委員会

第三十八条

一、この会の特定の目的を遂行するために、必要のあるときは、特別委員会を設けることができる。

二、特別委員会は、その任務を終えるとともに、自動的に解散する。

三、特別委員会の委員長は、必要ある場合実行委員会に出席して、意見を述べる

ことができる。

第三十九条

一、各常置委員会、および特別委員会の委員長は他の役員および校長の意見を聞いて、会長が任命する。但し必要に

応じて各委員会に地区委員長を置くことができる。

二、委員は、委員長の選任に基き実行委員会の承認を得て、会長が任命する。

一、各常置委員会、ならびに特別委員会の委員の任期は、十年とする。ただし引き続き十期間だけ留任してもよい。

二、常置委員会相互間において、委員は、他の委員を兼ねることができない。

学年委員会の任務は次のとおりである。

一、その学年の会員が会員としての義務と権利を全うするようつとめる。

二、教育環境をより好ましくするように努むつとめる。

三、教職員と保護者、および保護者相互の連絡と親睦をはかる。

第四十二条

成人教育委員会の任務は次のとおりである。

一、教育水準を高めるために、会員に対して成人教育を行う。

二、地域の社会教育を盛んにすることに協力する。

三、人権意識を高めるために、会員を対象にした研修事業を推進する。

四、人権啓発に関する研修会に参加し、その成果の広報に努むつとめる。

五、PTA図書館の運営にあたる。

六、優良図書に関心をもち会員に読書の習慣を盛んにし教養を高めることにつとめる。

第四十三条

広報委員会の任務は次のとおりである。

一、会員に対し、情報を伝達する。

二、地域社会に対し、この会の認識と理解を深め進んで協力を得るようにつとめる。

第四十四条

三、この会と同じ目的をもつ他の団体、または機関との連携をはかる。

厚生保健委員会の任務は次のとおりである。

一、生徒の家庭生活、社会生活の保護善導につとめる。

二、生徒の安全に関して学校に協力する。

三、地域内の関係団体機関およびそれらの活動に協力する。

四、会員の保健衛生に対する理解を深める。

五、学校の保健事業に協力する。

六、学校の体育事業に協力し生徒の健康増進につとめる。

第四十五条

校長は、各常置委員会、または特別委員会に出席して、意見を述べることができる。

各常置委員会、および特別委員会は、その事業計画について、実行委員会にはからなければならぬ。

この規約は、総会において、出席者の三分の二以上の賛成によつて改正することができる。ただし、改正案は、総会の少なくとも、一週間前に、その内容を全会員に知らせておかねばならない。

第十二章

改正

第四十七条

平成二十四年四月二十八日改正
平成二十五年四月二十七日改正
平成二十八年四月二十三日改正
平成二十九年四月二十二日改正
令和七年五月二十日改正